



34:1 エリフは続けて言った。
34:2 知恵のある人々よ。私の言い分を聞け。
知識のある人々よ。私に耳を傾けよ。
34:3 口が食物の味を知るように、耳はことば
を聞き分ける。
34:4 さあ、私たちは一つの定めを選び取り、
私たちの間で何が良いことであるかを見分け
よう。
34:5 ヨブはかつてこう言った。
「私は正しい。神が私の正義を取り去った。
34:6 私は自分の正義に反して、まやかしを言
えようか。私はそむきの罪を犯していないが、
私の矢傷は直らない。」
34:7 ヨブのような人がほかにあろうか。彼は
あざけりを水のようにのみ、
34:8 不法を行なう者どもとよく交わり、悪人
たちとともに歩んだ。
34:9 彼は言った。「神と親しんでも、それは
人の役に立たない。」

34:10 だから、あなたがた分別のある人々よ。
私に聞け。神が悪を行なうなど、全能者が不
正をするなど、絶対にそういうことはない。
34:11 神は、人の行ないをその身に報い、人
に、それぞれ自分の道を見つけるようにされ
る。
34:12 神は決して悪を行なわない。全能者は
公義を曲げない。
34:13 だれが、この地を神にゆだねたのか。
だれが、全世界を神に任せたのか。
34:14 もし、神がご自分だけに心を留め、そ
の霊と息をご自分に集められたら、
34:15 すべての肉なるものは共に息絶え、人
はちりに帰る。

34:16 あなたに悟りがあるなら、これを聞け。
私の話す声に耳を傾けよ。
34:17 いったい、公義を憎む者が治めること
ができるか。正しく力ある方を、あなた
は罪に定めることができるか。
34:18 人が王に向かって、「よこしまな
者。」と言い、高貴な人に向かって、「悪
者。」と言えるだろうか。
34:19 この方は首長たちを、えこひいきせず、
貧民よりも上流の人を重んじることはない。
なぜなら、彼らはみな、神の御手のわざだ
から。
34:20 彼らはまたたくまに、それも真夜中に
死に、民は震えて過ぎ去る。強い者たちも
人の手によらないで取り去られる。

唯一にして全能の神を信じている者は、真理の
「ことばを聞き分ける」ことができます。一方ヨ
ブのように正しく見える人でも、間違うことが
あるのです。「私は正しい」と言っても、神の前
には間違いや自分中心がありますし、また「神と親
しんでも…役に立たない」と言っても、それは間
違いで、永遠の命と祝福は神様から来るのです。
苦しいヨブに同情しますが、しかし、人間的な
同情よりも、彼に必要なものは神の永遠の真理と
それによる希望です。苦しさの中でこそ、同情の
思いがあればこそ、神の御心を宣言しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の
約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願
いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなた
の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

